

産業保健職のためのACT研修ワークショップ

面談で活かす行動科学 — 社員に“太陽”として関わるには



職域のACT研究会

産業保健の現場でメンタルヘルスのケアをするとき、社員さんとどう関わればいいのか、迷うことはあるでしょうか。なかなかこちらの気持ちが伝わらず、本人の行動が変わらない。産業保健なので治療をするわけではない。でも職場環境や就業制限のことだけを考えるのか、本人への気持ちへアプローチするのはどうするのだろう。

「ルールと愛でできている」と言われ、「北風と太陽」の二面の対応が求められるという産業保健。「太陽」として関わるにはどうしたらいいのか？
・・・行動科学がひとつの答えを提示してくれるかも知れません。

第三世代行動療法である

ACT(Acceptance and Commitment Therapy/Training)を軸に行動科学を学び、産業保健の現場の状況を踏まえた、使える考え方/手法を身につけます。厳しい状況の社員さんなどへの関わり方を考え、スキルを習得します。対人援助職としてのご自身のあり方を改めて見直す機会にもなると思います。

対象：産業保健職(産業医、産業保健師・看護師、産業心理職)
(社員等のメンタルヘルスに対応する)人事担当者
(ACT/行動科学の学習歴は問いません。全くの初学者で大丈夫です)

内容

- ・産業保健で対応に困るケースとは
- ・対象者を行動科学の枠組みで理解する
- ・専門職自身が心理的に柔軟になる
- ・産業保健現場で対象者に関わる
- ・コミットメントと行動活性化
- ・マインドフルネスとアクセプタンス
- ・ケースフォーミュレーションと介入計画
- ・スキル演習と事例検討

ACTについての基礎講義 (オンライン・オンデマンド)

講師：大月 友（早稲田大学人間科学学術院 准教授）
オープニング/ACTのイントロダクション/心理的柔軟性とは/
ケースフォーミュレーションと創造的絶望/エクササイズとメタファー/
ACTの事例検討/学習参考情報 全4.5時間

視聴可能期間：2024年2月23日(金)から3月22日(金)



産業保健に活かすための 合宿ワークショップ

インストラクター：林 幹浩（総合診療医・産業衛生専門医・公認心理師）
2024年3月23日(土)・24日(日)

ACTにおける価値/価値のエクササイズ/対象者の価値を見いだす/
マインドフルネスとアクセプタンスのエクササイズ/対象者の脱フュージョン/
ACTのケースフォーミュレーション/介入スキルの実際

会場：ニューウエルシティ 湯河原（〒413-001 熱海市和泉107）
(JR湯河原駅から無料シャトルバスで10分)



スキル演習・事例検討会 (自由参加)(対面)

2024年4月20日(土)15:00-17:00

5月18日(土)15:00-17:00

6月15日(土)15:00-17:00

会場：東京・日本橋(東京都中央区日本橋本町2-3-11 日本橋ライフサイエンスビルディング 会議室)

参加費

25,000円 (合宿の宿泊費/一泊二食の費用が含まれます)

参加申し込み

参加申し込みは右 ⇒ のQRコードから
お問い合わせは職域のACT研究会事務局 (mail: seminar2024@vismed.jp)まで
このプログラムは、早稲田大学との共同研究として実施しています。

